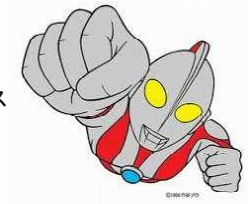
ともに励まん

２０１８，１１，２９（木）
北海道旭川永嶺（えいりょう）高等学校２年次だより　第３４号（通巻 79 号）

もう師走！　12月



後期中間考査、頑張れましたか？

あっという間に11月も終わり。見学旅行から1ヶ月も経つんですね。12月もあっという間に過ぎてゆくことでしょう。年が改まるとよく言われるのが「1月行く、2月逃げる、3月去る」。年度末の3ヶ月もあっという間に日が経つという意味です。

そこで、ちょっと酷な見方かもしれませんが、「ヤバい」1年後をシミュレーションしてみようと思います。もちろん、「いい」なんていう意味じゃあない。「不都合である」「危険である」という意味ですぞ。

「ヤバい」１年後のシミュレーション

さて、やがて冬も終わり、２年次もなんとか終えて、新３年、新学期だ。もはやクラスのメンバーがどうだとか担任がどうだとか言っている場合じゃない。みんな、進路に合わせた科目選択をし、その組み合わせで偶然編成されたクラスなんだ。お互い様とあきらめるしかない。日本全国の高校がそうなっているのだ。そして、諸君。君たちもあっという間に「受験生」なわけだよ。

そして、思い返してごらん。新学期から夏休みまでというのも、慌ただしく月日が流れていくよね。

3年生になったらなったで、最高学年として部活動、生徒会などで責任も重くなり、運動部だったら、高体連が終わるまで、それこそ受験勉強に本腰が入らない。そしてすぐに学校祭で完全燃焼し、気がつくともう夏休み、「受験の天王山」。こうした流れに「ボーッ」っと流されていると、もう、受験勉強**間に合わない！**

そこで、「そうだ！**推薦入試**にかけよう！」となる。部活も頑張ってきたし、欠席も少ない。成績も基準をクリアした。だったら、「せっかくの**受験の機会を**活かそう（**増やそう**）」というわけです。

ところが、推薦に出願するには、校内の推薦会議で認められなければならない。そのためには「志望理由書」で、きっちり意志表明をしなければならない。この作文がまた大変だ。そしてなんとか出願が認められたところからいざ、面接の練習だ、小論文の練習だ、と多くの先生方も巻き込んでの**1ヶ月以上は「推薦」準備で身も心もいっぱい**いっぱい。

（注１）面接練習は、「形」は備わるかもしれないが、「中身」は簡単に埋められるものではないことに留意。

（注２）この期間、小論文は5本や10本書いたところで、読解力、思考力、表現力が急速に身につくものではないことに留意。

そうして受けた推薦入試。国公立は厳しい。出せば合格するっていうもんじゃない。ダメだったときのショック（ダメージ）によって、すぐには一般受験の勉強態勢に切り替えられない。

これで**前後「2ヶ月」ものあいだ、推薦入試に関わってのロスタイム**が生じる。

（注３）かなりの進学校といわれる学校の生徒だって、おんなじだ。2週間で立ち直れたら上々。だから、推薦の出願はむしろこうしたリスクも考えよ、と指導されるのが普通。

さあ、３年の12月になってから受験勉強の態勢に入る？　間に合いませんよね？　むしろこの「推薦」にかけた（賭けた？）2ヶ月間、必死でセンター入試の勉強した方がよほど「合格」への近道ではなかろうか？　そんな姿を数多く見てきました。

だからこそ、

だからこそ、

いま、２年生のここからが勝負時と心得て、すぐにでも「受験生モード」に切り替わって、勉強を始めよう！という声かけなんです。

見学旅行の終わった瞬間、その直後の定期考査、このあたりが「切り替え」の好機なんです。ここで心構えを新たにし、たとえば目前の定期考査に全力投球する、たとえば「勉強合宿」に挑戦（申込み）する、１月進研模試は当然申し込む、2月センター早期対策模試はもちろん計画に入れる、もう**人が変わったように勉強始める**‥‥‥そうやって、見通しを立てつつ、実行に移していく。

それが受験モードへの切り替えということです！　（各種申込みはＯＫ？）

だが、しかし

諸君の中からは、だがしかし、部活が‥‥‥という声も聞かれそう。模試や講習とこの大会、どっちが大事なんだ？ 勉強合宿に行ったってそれほど劇的な効果なんてないぞ。そんな心の奥底から聞こえてくる声に負けてしまうこともあるでしょう。でも、そのとき、君たちはどっちかの道を選ぶはず。勉強か？部活か？

選んだ方を悔い無きように全力で頑張るしかないのです。ただし、部活を選んだ場合は、それを勉強のできない言い訳にしてはなりません。それは自分に対して負けてしまうことになります。少しでも、いくらかでも、自分の勉強の時間を生み出す工夫をするのです。それでこそ、高校３年間、**部活と両立**した！って、胸を張れるのです。先輩や先生に言われるがままに過ごした３年間を、「私は、部活と両立させました」って言えますか？

人間、多少障壁がある方が、頑張りがいがあるというものです

ちょっと厳しい言い方をしました。でも、**２年生の終わりから３年生の始まりにかけての大事な時期**を、どういう心構えで過ごすか、というのは、今後卒業までの進路実現していくための大事な方向付けにつながると思うのです。去年の同時期とは訳が違います。がんばれ、２年生！

一方で、

部活に全力投球し、かつ勉強時間の確保や勉強方法に悩む頑張り屋さんがいる一方で、勉強するでもなく、なんとなく好きなことをして過ごしている無目標症候群の諸君。少数派だとは思うが、そんなことでいいの？一生、そのまんまでいいの？と問いたい。**一生？おおげさな**。と思うかもしれないが、「**習い、性（せい）となる**」という言葉がある。その心は、習慣がそのままその人の本来持っている性質のようになる、直しようがなくなるという意味だ。いにしえ、そういう人がいたからこそ、古人が私たちに残してくれた警句だ。

いま、だらだら過ごしている人。やがて、「あいつはもともとだらだらしたやつなんだよ。どうしようもないやつなんだよ。昔（学生時代）からそうなんだよ。」って期待されず、諦められ、切って捨てられるようになるなんて、なんと恐ろしいことではないか、ねえ。

☆☆☆　来週の行事と時間割　☆☆☆

１２月		行　事　等 ①②は、１校時２校時をあらわします		★時間割を確認しよう ①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
3	月	進学講習３期開始	6 時間							
4	火		7 時間							
5	水	講習(2)	6 時間							
6	木	論述模試	7 時間							
7	金	講習(3)	6 時間							
8	土	大原公務員模試								

１２月。気持ち切り替えるチャンス！　　（文責　伊丸岡）